

臨床医による
トランスレショナル
細胞外小胞研究とその未来

講師 横井 暁 Prof. Akira Yokoi

名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学
/医学部附属病院産科婦人科/高等研究院

日本癌学会評議員、日本細胞外小胞学会理事、日本ヒト細胞学会理事、
日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医、
日本ロボット外科学会認定医(国内B)、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、
卵巣癌・卵管癌・腹膜癌治療ガイドライン2025委員会委員、子宮頸癌治療ガイドライン2027委員会委員、他

電子研
学術講演会

2026.7.17 金 17:30

創成科学研究棟4Fセミナー室B

共催：フロンティア化学教育研究センター

産婦人科医として日常診療に携わるなかで、血液、尿、腹水、羊水など、多様な体液を取り扱う。そのすべてに細胞が放出する小さな脂質二重膜小胞であるエクソソーム・細胞外小胞（EV）が含まれており、何らかの生体メッセージを担っていると考えを巡らせると、日々新たなリサーチクエスチョンが生まれる。EV研究はこの10年で急速に発展し、細胞間コミュニケーション機構としての重要性が次々と明らかになってきた。一方で、再現性や標準化などの課題も存在し、国際細胞外小胞学会を中心に研究品質向上への取り組みが進んでいる。本講演では、EV研究の魅力と、分野横断的研究が切り拓く今後の可能性を紹介する。

代表論文

Science Adv. 12 eaeb8806 (2026), Science Adv. 12 eadu5944 (2026), Nature Commun. 14 6915 (2023), Science Adv. 9 eade6958 (2023), Science Adv. 5 aax8849 (2019), Nature Commun. 9 4319 (2018), Nature Commun. 8 14470 (2017)等

世話人：電子科学研究所インタラクション機能材料研究分野 長島一樹 (9377)